


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- Ⅰ 「スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの知識を身につける学校」
 Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 Ⅳ 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 Ⅴ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 井手町立多賀小学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ 】
2 実施対象者	(1) 5・6学年 37名（オリンピックによる陸上競技指導） (2) 全校児童（1～6学年） 100名（オリンピックによる講演会） (3) 5・6学年 37名（障がい者スポーツ体験）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名 ア オリンピアンによる陸上競技指導 （井手町陸上運動交歓記録会） イ オリンピアンによる講演会 ウ 障がい者スポーツ体験 ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	(1) オリンピアンによる陸上競技指導 一流選手の指導を受けたことをはげみに、自身の記録に挑戦することによって、自信や希望を持って何事にもチャレンジする精神を育てる。 (2) オリンピアンによる講演会 オリンピックによる講話を聞き、夢に向かってがんばること、何事も一生懸命に取り組むことの大切さについて学ぶ。 (3) 障がい者スポーツ体験 パラスポーツを体験し、スポーツを通して様々な人々と交流できる児童を育成する。
5 取組内容	(1) オリンピアンによる陸上競技指導（5・6年生） 10月30日に実施した井手町陸上運動交歓記録会に、乙訓高等学校の佐藤光浩先生（アテネオリンピック4×400mR 4位のオリンピック）をゲストに迎え、アドバイスや話を聞きながら、自身の記録にチャレンジした。また、当日までに指導を受ける佐藤先生の当時の映像を活用して事前学習に取り組んだ。 【佐藤先生による競技指導】 

	 <p>(2) オリンピアンによる講演会（全校児童） 1月30日にシンクロナイズド・スイミングでロンドン五輪に出場した小林千紗元選手を招待して講演を聞く。オリンピックに出場された自身の経験をもとに、夢に向かってがんばること、何事も一生懸命に取り組むことの大切さについての講話を聞く。 (3) 障がい者スポーツ体験（5・6年生） 1月24日に車いすフェンシングでアジアのpara大会に出場した安井一彦選手を招待して、競技の紹介や競技に取り組む際の苦労等について話を聞いたり、実際に競技を体験したりする。</p>
6 主な成果	(1) オリンピアンによる陸上競技指導 ① 一流選手の技能に触れることができ、陸上競技への興味関心が高まり、短距離走の技能の向上が見られた。 ② 佐藤先生の当時の映像を活用して事前学習をしたことで、佐藤先生や陸上競技への関心が高まり、大会に向けての練習に意欲を持って取り組めた。 ③ 競技指導で教わった練習法や走り方などを体育の授業などで実践し、活かすことができた。
7 実践において工夫した点 （事業の特色）	(1) オリンピアンによる陸上競技指導 ① 事前学習として、佐藤先生の当時の競技映像を見せた。 ② オリンピアンによる競技指導の内容によって競技の順番を入れ替えた。 (2) オリンピアンによる講演会 オリンピックの話やオリンピックの話を聞けるよい機会と捉え、高学年だけでなく、全学年を対象にする。 (3) 障がい者スポーツ体験 話を聞くだけでなく、実際に体験できるよう児童用の車いすを数台用意し、パラスポーツを体験できるようにする。
8 主な課題等	(1) オリンピアンによる陸上競技指導（井手町陸上運動交歓記録会） (2) オリンピアンによる講演会 (3) 障がい者スポーツ体験 ① 3つとも人選にとっても苦慮した。 ② 車いすフェンシングだけでなく、体育の授業を活用して、様々な障がい者スポーツ体験を増やす。
9 来年度以降の実施予定	(1) オリンピアンによる陸上競技指導（井手町陸上運動交歓記録会） 陸上運動交歓記録会にオリンピックを招き、陸上競技の技術指導等を通じて交流を図る。 (2) オリンピアンによる講演会 様々な種目のオリンピックを招き、講演会を開く。 (3) 障がい者スポーツ体験 障がい者スポーツの競技者をゲストティーチャーに招き、実際に競技を体験する。